

(株)フォーラルで栄養関連活動推進を担当する大倉（旧姓神永）実穂さん
薬局に管理栄養士がいることを ご存知ですか？

2014年 医療栄養学科卒業



私は、大学生になり授業を受けるまで、薬局に管理栄養士がいることを知りませんでした。

正しく、楽しく食事ができるような提案をすることで、みんなを健康にしたい、笑顔にしたいという想いで管理栄養士を志しました。城西大学では臨地実習として、薬局実習の機会があり、そこで薬局管理栄養士の活動を知りました。いつまでも健康でいられるように予防としての取り組みや、病気の早期発見、早期治療のきっかけ、病気や寝たきりになったとしても、最後まで患者さんの希望に寄り添った介入ができる等、幅広い面で活躍しており、沢山の方を食事で笑顔にしたい私の夢が実現できる、薬局への就職を決めました。

主なフォーラルでの薬局管理栄養士の活動は、お薬が出来上がるのを待っている間に行う無料栄養相談や、いつまでも寝たきりにならず、健康寿命の延伸を目指す介護予防事業、生活習慣病の早期予防としての特定保健指導、外になかなか出られない患者さんに対して自宅に伺い、食事の提案を行う在宅訪問栄養等が挙げられます。その他にも、店舗全体で夏バテ予防のセミナーや、減塩セミナー等、季節や地域の方のニーズにあったセミナーを店舗スタッフが自ら考えて作り上げていきます。幅広い活動が出来る事も薬局のメリットだと思いますが、私が一番に魅力を感じるの、『地域の方と距離が近い』ということです。病院だとなかなか相談できない事も、薬局なら相談しやすい、気軽に立ち寄りやすい等、様々なお声をいただいています。また、『大倉さんにアドバイスをもらって取り組んだら体調がよくなって、最近毎日が楽しい。ありがとう』と直接感謝のお声かけをいただいたとき、薬局に勤めていてよかったと感じました。

今後、沢山の方に薬局を利用してもらい、地域の方を健康にしていく為にも薬局管理栄養士を世間に認知してもらうことが課題です。また、地域を支えていくには、薬局だけでなく病院や地域包括支援センター、区市町村、自治会・町内会等、様々な方との連携が不可欠です。薬局がどのように地域に貢献していけるか、日々考え、支え合いながらみんなで作り上げていく事が薬局管理栄養士のやりがいであり、良さだと思います。

これからもたくさんの方と連携しながら、たくさんの方を健康にしていけるよう、前へ進んでいきます。



(2018.10 広報課 城西大学ホームページから)